

※本文内の()内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

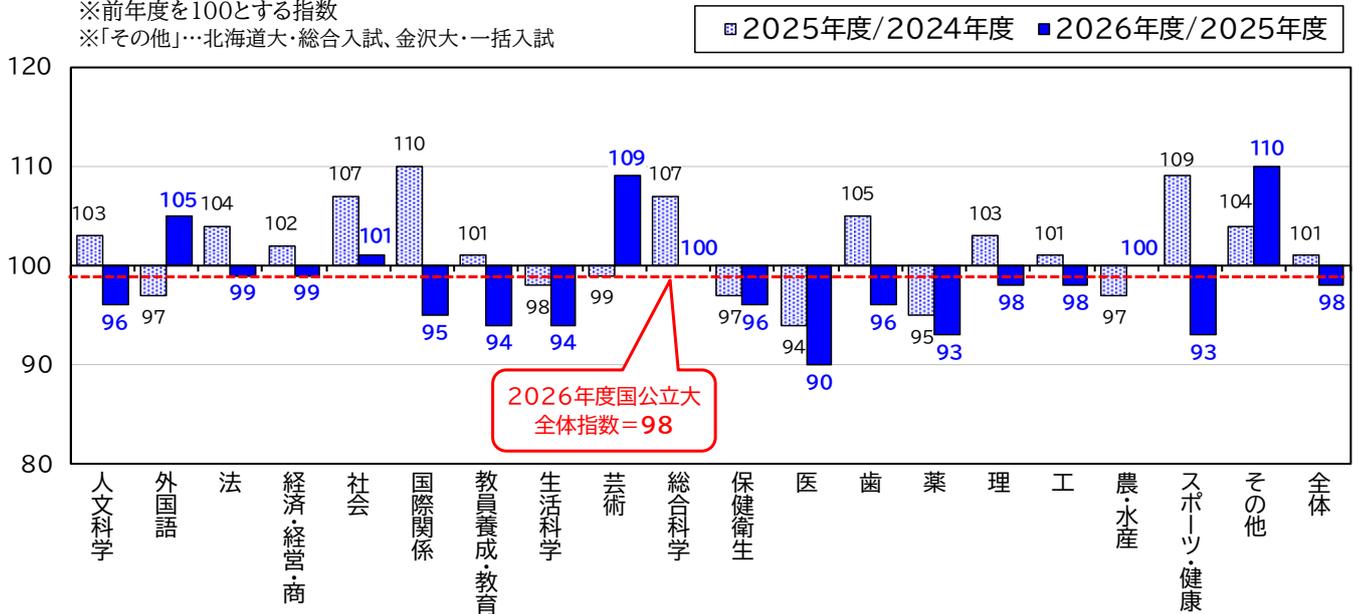
◎系統別志願状況

□芸術は増加、外国語はやや増加

医は減少、薬、スポーツ・健康、教員養成・教育、生活科学等はやや減少

※前年度を100とする指数

※「その他」…北海道大・総合入試、金沢大・一括入試



芸術(109)は増加、外国語(105)はやや増加でした。一方で、医(90)は減少、薬(93)、スポーツ・健康(93)、教員養成・教育(94)、生活科学(94)、国際関係(95)、人文科学(96)、保健衛生(96)、歯(96)はやや減少でした。これら以外の7系統は前年度並でした。「その他」を除くと2年連続増加した系統はなく、2年連続減少したのは生活科学、保健衛生、医、薬の3系統でした。

文系の系統では、神戸市外国語大(116)の大幅増加や大阪大(112)の増加などが影響し、外国語(105)はやや増加しました。一方で、東京外国語大(78)、神戸市外国語大(78)の大幅減少が影響し、国際関係(95)はやや減少しました。

理系の系統では、農・水産(100)、工(99)、理(98)はいずれも前年度並。

メディカル系は、医(90)は減少、薬(93)、保健衛生(96)はやや減少で、いずれも3年連続減少となりました。歯(96)はやや減少で、4年ぶりに減少となりました。

文理いずれからも志願者がいる系統では、名古屋市立大(404)の激増や、東京芸術大(107)のやや増加が影響し、芸術(109)は増加しました。一方で、スポーツ・健康(93)は、埼玉県立大(45)、名桜大(72)の大幅減少が影響し、やや減少となりました。

最後に、複数の系統を一括募集するその他(110)は、金沢大一括入試が文理合計で(131)と2年連続大幅増加、北海道大(106)もやや増加したことが影響して、2年連続増加となりました。